

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社fonfun

コード番号 2323 URL <http://www.fonfun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林 和之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部部長

(氏名) 八田 修三

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

TEL 03-5357-0303

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	130	△24.4	0	△97.9	1	△78.0	1	△80.6
25年3月期第1四半期	172	△15.4	6	△71.0	7	△63.0	6	△91.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1百万円 (△80.6%) 25年3月期第1四半期 6百万円 (△90.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	0.50	—
25年3月期第1四半期	2.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	808	357	44.2
25年3月期	817	356	43.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 357百万円 25年3月期 356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	258	△22.3	△9	△158.7	△12	△165.4	△13	△172.1	△4.96
通期	559	△9.5	26	△6.3	19	△48.9	18	82.3	6.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	2,661,720 株	25年3月期	2,661,720 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	41,808 株	25年3月期	41,728 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	2,619,940 株	25年3月期1Q	2,620,549 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、着実に持ち直しており、自律的回復に向けた動きもみられる、とされております。今後は、輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現するなかで、企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながり、景気回復へ向かうことが期待されるものの、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクも残っております。

当社を取り巻く環境に関しては、モバイルコンテンツの市場構造が変化しており、市場規模は拡大しているものの、内訳をみるとソーシャルゲーム市場が大きな部分を占めてきております。携帯電話市場に関しては、平成25年6月末における携帯電話・PHSの契約数は138,490,300件（前年同月比6.1%増 社団法人電気通信事業者協会調べ）であり、携帯契約総数の大幅な拡大が望めない中、スマートフォン端末の普及が急速に進んでおります。その影響で携帯通信事業各社の契約数のシェアにも変化が現れており、また、携帯通信事業各社ごとにスマートフォン上でのコンテンツ提供戦略に違いもあり、コンテンツ市場の構造も変化を強いられています。

このような状況の下、当社グループは、リモートメール事業に経営資源を集約して収益を維持しつつ、新たなサービスの開発を進めてまいりました。

当社グループの各セグメント別の業績は次のとおりであります。

① リモートメール事業

「リモートメール」個人版サービスにつきましては、既存利用者の利用継続を第一目的に、他社サービスに対して優位性のある使い勝手のよさをさらに向上させる改善を継続して実施しております。携帯電話からスマートフォンへ切り替えた際にも、違和感を覚えずに継続利用できるよう、スマートフォン向けの最適化を進めております。契約数の減少傾向に歯止めをかけるべく、効果的な広告宣伝に努めております。

「リモートメール」法人版サービスにつきましては、引き続き営業活動を強化し顧客獲得に取り組んでおります。既存顧客からの紹介、新規顧客へのアプローチ方法の強化など販路拡大に努めつつ、各種機能を細かく調整し、よりセキュアに使用したいという顧客ごとの要望に柔軟に対応することで顧客満足度の向上にも努めております。

また、光通信グループの携帯電話販売店にて販売している、当社子会社・株式会社FunFusionを販売元とする「モバイル活用パック」も引き続き売り上げに寄与しております。

上記の結果、リモートメール事業の売上高は125百万円（前年同期比20.9%減）、営業利益は31百万円（前年同期比17.3%減）となりました。

②その他

その他の売上は、主に携帯電話・スマートフォン向けコンテンツの売上によるものであり、売上高は4百万円(前年同期比64.7%減)、営業損失は4百万円(前年同期営業損失3百万円)となりました。

※前連結会計年度まで「リモートメール事業」、「コンテンツ事業」の2つを報告セグメントとして情報を開示しておりましたが、「コンテンツ事業」の金額的重要性が低下し、全セグメントに占める「リモートメール事業」の割合が高くなった為、当第1四半期連結会計期間より、セグメント情報の記載を省略しております。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高130百万円(前年同期比24.4%減)、営業利益0百万円(前年同期比97.9%減)、経常利益1百万円(前年同期比78.0%減)、四半期純利益1百万円(前年同期比80.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は808百万円となり、前連結会計年度末に比べ、9百万円の減少となりました。その主な要因は、売掛金の減少8百万円等であります。

負債の部は450百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少しております。主な要因は、長期借入金の減少12百万円等であります。

純資産は357百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円の増加となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月15日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	598,841	598,759
売掛金	114,767	106,297
製品	55	29
繰延税金資産	9,475	9,475
短期貸付金	1,680	120
その他	13,119	11,632
貸倒引当金	△1,361	△446
流動資産合計	736,576	725,867
固定資産		
有形固定資産	28,651	28,218
無形固定資産		
ソフトウェア	5,345	4,178
ソフトウェア仮勘定	945	1,635
無形固定資産合計	6,290	5,813
投資その他の資産		
長期貸付金	650	680
長期未収入金	1,355,015	1,350,125
その他	26,519	30,298
貸倒引当金	△1,335,891	△1,332,872
投資その他の資産合計	46,292	48,231
固定資産合計	81,235	82,263
資産合計	817,811	808,130
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,025	9,144
短期借入金	219,680	220,180
未払金	39,610	39,473
未払法人税等	4,290	1,887
偶発損失引当金	9,000	9,000
その他	4,972	5,995
流動負債合計	280,579	285,680
固定負債		
長期借入金	164,660	152,240
退職給付引当金	16,252	12,598
固定負債合計	180,912	164,838
負債合計	461,492	450,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,242,605	2,242,605
資本剰余金	636,561	636,561
利益剰余金	△2,349,564	△2,348,252
自己株式	△173,464	△173,484
株主資本合計	356,137	357,429
新株予約権	182	182
純資産合計	356,319	357,611
負債純資産合計	817,811	808,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	172,300	130,226
売上原価	26,742	25,602
売上総利益	145,557	104,623
販売費及び一般管理費	139,214	104,491
営業利益	6,343	132
営業外収益		
受取利息	760	706
貸倒引当金戻入額	3,379	3,777
その他	175	492
営業外収益合計	4,314	4,976
営業外費用		
支払利息	2,770	2,509
その他	639	1,005
営業外費用合計	3,409	3,514
経常利益	7,247	1,594
特別損失		
固定資産除却損	210	—
特別損失合計	210	—
税金等調整前四半期純利益	7,037	1,594
法人税、住民税及び事業税	282	282
法人税等合計	282	282
少数株主損益調整前四半期純利益	6,755	1,312
少数株主利益	—	—
四半期純利益	6,755	1,312

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,755	1,312
四半期包括利益	6,755	1,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,755	1,312
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(開示の省略)

セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第1四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。